

被ばく低減対策好事例集

場所		分類		番号	28-10
原子炉建屋内	RB	TB	7		
タービン建屋内	TB			2	距離
R ZONE	R			3	遮へい
Y ZONE	Y			4	線源の除去
G ZONE	G			5	遠隔、自動化
その他 ()	Z			6	汚染拡大防止
				7	その他
内容		アクセスルートを変更に伴って低線量率エリアに変更			
作業部位		1号機 タービン建屋 1階			
概略		作業場所への移動ルートに低線量率エリアを選定し、移動時の被ばくを減少。			
評価 (定性・定量)	効果		対策前	対策後	
		被ばく線量(mSv)	※10,079	※2,984	
		人工数(人日)	--	--	
事例詳細		※28-08~10合計の値			
<p>対策前 作業場所へ移動するルートは、高線量率の場所もあり、移動に際して被ばくが増加する可能性があった。</p> <p>対策内容 高線量率のルート避け、低線量率エリアにアクセスルートを設定し、移動時の被ばくを減少させた。併せて、作業員への周知を図った。</p>					
<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> → (赤点線): 対策前ルート(高線量エリア) → (緑点線): 対策後ルート(低線量エリア) <p>M/S開口部近傍は高線量のため極力通行しない</p> <p>アクセスルート</p> <p>1号機 T/B 1FL</p>					
<p><注意点>アクセスルートは、日々の環境線量率測定による確認が大切です。</p>					